

PRIMERGY オプション製品

システム構成図(留意事項編)

【2011年10月版】

サーバ監視ソフト ServerView Operations Managerについて

ServerView Operations Managerは、PRIMERGYに標準添付されているサーバ監視・管理ソフトウェアです。エージェントソフトであるServerView AgentsまたはServerView ESXi CIM Provider(標準添付)と一緒に利用することにより、それぞれ以下の機能を実現します。

[管理サーバ用マネージャーソフト]

ソフトウェア名称	ServerView Operations Manager(SVOM)		
利用環境	Windows/Linux/VMware ESX環境	VMware ESXi 4.1環境	VMware ESXi 5.0環境
主な機能	サーバ状態情報表示 (SNMP経由)	サーバ状態情報表示 (CIM経由)	
	エージェントからのアラーム受信/表示 エージェントからのアラーム受信によるアラームアクションの実行(リモート通報サービスの提供) - インターネットメール送信 - SNMPトラップ転送 - メッセージボックス - プログラム実行 - 接続クライアントへのブロードキャスト - イベントログ記録	無し	可
	エージェントに対する各種設定 - ASR(自動復旧機能)	無し	
	パフォーマンス監視(CPU負荷率/メモリ負荷率等)	無し	
備考	本ソフトウェアは、Windows (Windows Server® 2003以降)またはLinux上にて動作します (VMwareへのインストールは不可)		

※VMware ESX/ESXiを含むシステムでSVOMを利用する場合は、別途管理サーバ(Windows/Linux上で動くサーバ、ゲストOSでも可)を準備してください。

※VMware ESXiのサーバ状態情報表示を行う場合、SVOMはバージョンV5.01.03以降をお使いください。

※VMware ESXiサーバからのアラーム受信を行う場合、SVOMはバージョンV5.30.06以降をお使いください。

※サーバ異常検出時のメッセージボックスは、サーバにログオンしていないと表示されません。ログオンしていないときに発生した異常は、インターネットメール、SNMPトラップにて通知することができます。また、イベントログにて発生を確認することができます。

※VMware ESXi環境で利用する際には留意事項等がありますので、弊社HP (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/>) 内、VMware留意事項を必ずご参照ください。

[監視対象サーバ用エージェントソフト]

ソフトウェア名称	ServerView Agents	ServerView ESXi CIM Provider	
監視対象サーバ	Windows/Linux/VMware ESXを搭載したサーバ	VMware ESXi 4.1を搭載したサーバ	VMware ESXi 5.0を搭載したサーバ
主な機能	管理サーバ(SVOMインストール済)へサーバ状態情報の提供 (SNMP経由)	管理サーバ(SVOMインストール済)へサーバ状態情報の提供 (CIM経由)	
	ハードウェアのステータス変更に伴うアラーム送信	無し	ハードウェアのステータス変更に伴うアラーム送信
	ハードウェアのステータス変更に伴うイベントログ記録	無し	

※Windows/Linux/VMware ESXを搭載したサーバは「SNMPトラップ」によりアラームが送信されます。VMware ESXi 5.0を搭載したサーバは「CIM Indication」によりアラームが送信されます。

※ServerView ESXi CIM Providerについて、留意事項やインストール手順を弊社HP (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/>) 内、VMware留意事項にて掲載していますので必ずご参照ください。

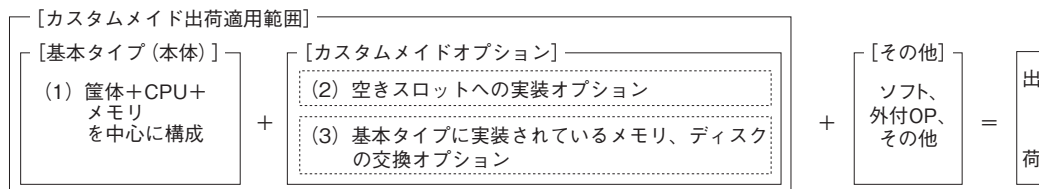
カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、ハードウェアの標準構成をメモリ/ディスク等のオプションごとにお客様の仕様に合わせて追加/変更し、本体に実装して出荷することのできる形態です。

カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模/予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

1. カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について

カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「基本タイプ(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。それ以外の製品に関しては、従来通り、製品単位で出荷されます。



[カスタムメイド適用製品一覧]

(1) 基本タイプ(本体)

TX100 S3/TX120 S3/TX140 S1/TX150 S7/TX200 S6/TX300 S6/RX100 S7/RX200 S6/RX300 S6/RX600 S6/BX920 S2/BX922 S2/BX924 S2/BX960 S1 の全タイプが対象となります。(オールインワンタイプ、モニタレス運用対応タイプ等を除く。)

(2) カスタムメイドオプション: 空きスロットへの実装オプション

PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注: FMVとの共通製品等を除く。)

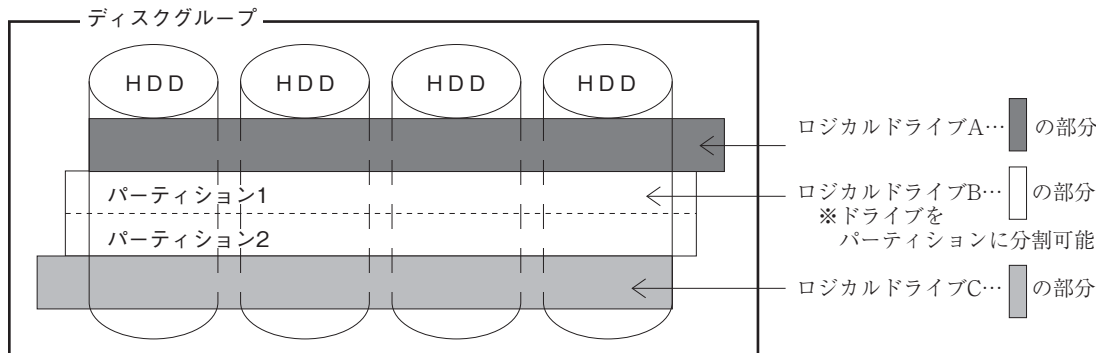
2. ディスクレスタイプにおけるカスタムメイド出荷について

ディスクレスタイプでOSをインストールする際には、予定外の装置に間違えてOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先の内蔵HDD/SSD以外のオプション装置(内蔵HDD/SSD、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。カスタムメイド手配時にはご注意ください。

内蔵ストレージ関連事項

ディスクアレイ構成の考え方

- ・ディスクグループ・・・1つのRAIDを構成する物理的なHDDの集まり。
- ・ロジカルドライブ・・・OSがドライブとして認識できるドライブ。
- ・パーティション・・・OSで設定するロジカルドライブを分割したアクセス論理単位。



<構成規則について>

- (1) ディスクグループは、必ず同じ型名の内蔵ストレージで構成してください。
- (2) ブートロジカルドライブのサイズは、2TB未満に設定してください。
ロジカルドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。
- (3) 1つのフィジカルパックを構成する内蔵ストレージの台数は、以下のとおりです。

・RAID0	(性能向上のために、データを複数ドライブへ分割して書込む方式)	— 1~32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の総和]
・RAID1	(信頼性向上のために、ドライブを二重化し同一データを書込む方式)	— 2台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID1E	(信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書込む方式)	— 4~32台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID1+0	(信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書込む方式)	— 4~16台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・RAID5	(信頼性向上のために、データを分割しパリティを加えて書込む方式)	— 3~32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-1)台分]
・RAID5+0	(信頼性向上のために、RAID5のデータを分割(RAID0)し複数ドライブに書き込む)	— 6~256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID5構成のドライブ台数-1)×ストライピング数]
・RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し2つのパリティを加えて書込む方式)	— 3~32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-2)台分]
・RAID6+0	(信頼性向上のために、RAID6のデータを分割(RAID0)し複数ドライブに書き込む)	— 6~256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(RAID6構成のドライブ台数-2)×ストライピング数]

※右記のアレイコントローラにおいては、3台以上でRAID1Eを組むことができます。(PY-SC1L4/SC1L8)

- (4) 1つのディスクグループを複数のロジカルドライブに分割した場合の各ロジカルドライブのRAIDレベルは、同じものしか設定できません
- (5) アレイコントローラの種類によっては、1つのアレイコントローラで複数のディスクグループを設定することが可能です。
但し、内蔵ストレージは以下の条件を満たす必要があります。
 - ・ディスクグループは同型名の内蔵ストレージで構成してください。
 - ・複数のディスクグループを同容量の内蔵ストレージで構成する場合は、すべて同型名の内蔵ストレージで構成してください。
- (6) 1つのアレイコントローラで複数の異なるRAIDレベルの設定が可能です。
但し、以下の条件を満たす必要があります。
 - ・同一ディスクグループ内のロジカルドライブは同一のRAIDレベルとする必要があります。
 - ・1つのディスクグループ内には複数のロジカルドライブが作成できます。(最大8個)
- (7) ホットスペアディスクはディスクグループ中に接続されている同型名の内蔵ストレージで設定してください。
異なる内蔵ストレージを使用した複数のディスクグループが存在する場合は、各々のディスクグループに対して、同型名のホットスペアを最低1台設定する必要があります。

ハードディスクキャビネット/SASアレイコントローラカード/SCSIカード/SASカードの注意事項

- ハードディスクキャビネットについて
 - OSは必ずサーバ本体内蔵ストレージにインストールする必要があります。
- SASアレイコントローラカード[TX300 S6/RX200 S6 (2.5インチx8モデル)/RX300 S6標準搭載]について
 - ①サーバ本体に搭載した1台の内蔵ストレージに接続するカードは1枚です。
 - ②RAID0/1において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/のみサポート)
- オンボードSASコントローラ[BX920 S2標準搭載]について
 - ①オンボードSASコントローラに接続可能なストレージはサーバ本体内蔵ストレージのみです。
 - ②オンボードSASコントローラでRAIDを構成する場合は、同容量/同回転数の内蔵ストレージ2台のみ接続可能です。
 - ③オンボードSASコントローラで作成できるロジカルドライブは1つのみです。
- オンボードSATAコントローラ[BX960 S1/BX924 S2/BX922 S2/TX150 S7 (3.5インチモデル)/TX200 S6 (3.5インチモデル) 標準搭載]について
 - ①オンボードSATAコントローラに接続可能なストレージは内蔵ストレージのみです。
 - ②オンボードSATAコントローラでRAIDを構成する場合は、RAID1を2セットまで構成可能です。(BX922 S2/BX960 S1は、RAID1を1セットまで構成可能です。)
 - (TX150 S7 (3.5インチモデル)はRAID1+0を1セットも構成可能です。)
- オンボードSATAコントローラ[TX100 S3/TX120 S3/TX140 S1/RX100 S7 標準搭載]について
 - ①オンボードSATAコントローラに接続可能なストレージは内蔵ストレージのみです。
 - ②オンボードSATAコントローラでRAIDを構成する場合は、RAID1を2セット、またはRAID1+0を1セット構成可能です。
- SASコントローラカード[TX150 S7 (2.5インチモデル)/TX200 S6 (2.5インチモデル)/RX200 S6 (2.5インチx6モデル(SAS)) 標準搭載/PG-254BC/PG-254B/PG-254B5]
 - ①接続可能なストレージは、サーバ本体内蔵ストレージ4台までです。
 - ②RAIDを構成する場合は、内蔵ストレージ2台までです。
 - ③SASコントローラカードで作成できるロジカルドライブは1つのみです。
- SASコントローラカード[PY-SC1L4/PY-SC1L8]について
 - ①内蔵ストレージ1台でのRAID0構成はできません。
 - ②SASコントローラカードで作成できるロジカルドライブは最大2つです。(但し、一つのディスクグループに複数のロジカルドライブを作成することはできません。)
 - ③RAID1を2組構成可能です。
- SASアレイコントローラカード[PG-248L1/PG-248LC/PG-248L/PG-248L2/PG-248L3/PG-248L5/PG-248B3/PG-248BC1/PG-248B5/PG-248C6/PG-248C8/PG-248J1/PG-248JC/PG-248JC1/PG-248J/PG-248J3/PG-248J4/PG-248J5/PG-248JL/PG-248H1/PG-248HC/PG-248H2/PG-248H/PG-248H3/PG-248HC3/PG-248H5/PG-248HL/PY-SR2L2/PY-SR2C2]について
 - ①サーバ本体に搭載した1台の内蔵ストレージに接続するカードは1枚です。
 - ②RAID0/1/5/6において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2において、パーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
- SASアレイコントローラカード[PG-248K/PG-248KL/PG-248K3/PG-248N3/PG-248NL/PY-SR2W0/PY-SR2W0L]について
 - ①ETERNUS JX40接続用のカードです。
 - ②RAID0/1において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2において、パーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
 - ③1枚のカードでETERNUS JX40を2台まで接続可能です。
- SASアレイコントローラカード[PG-248H2/PGB248H6/PG-248M/PGB248J2/PGB248C7]
 - ①PRIMERGY SX940 S1 ストレージブレード、PRIMERGY SX960 S1 ストレージブレード接続用カードです。
 - ②RAID0/1/5/6において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2において、パーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
- SASアレイコントローラカード[PG-248L2]について
 - ①PRIMERGY SX940 S1 ストレージブレード接続用カードです。
 - ②RAID0/1において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2において、パーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
- SASアレイコントローラ拡張ボード[PGBSRD2012]について
 - ①PRIMERGY BX920 S2 内蔵ストレージ接続用カードです。
 - ②RAID0/1において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2において、パーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)

システム構成図留意事項

●消耗品の扱いについて

以下のアレイコントローラに搭載されているバッテリーは消耗品となります。

寿命の際は、お客様による手配交換となりますのでご注意ください。

※本寿命は温度環境が25℃の場合であり、温度環境によって寿命は変動いたします。

※RAS支援サービスや交換予告通知設定による事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。

※バッテリーの交換作業を、お客様に代わって指定のサービスエンジニアが行うサービスとして、「SASアレイコントローラカードバッテリー交換作業代行サービス」をご用意しております。

詳細については弊社HP (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/support/service/>)を参照下さい。

消耗品(バッテリー)搭載アレイコントローラカード		寿命	交換用バッテリー			
	型名		品名	型名	希望小売価格(税別)	
SASアレイコントローラカード	PG-248J / PG-248J1 / PG-248J3 / PG-248J4 / PG-248J5 / PG-248JC PG-248JC1 / PG-248JL / PG-248G3L / PG-248G5 / PG-248GL / PG-248C6 PG-248C8 / PG-248KL / PG-248K3	約3年	⇒	バッテリーバックアップユニット	PG-BBU5	23,000円
	PGB248J / PGB248J1 / PGB248J2 / PGB248J4 / PGB248J5 / PGB248JC PGB248G3L / PGB248G5 / PGB248GL / PGB248C6 PGB248C7 / PGB248C8 / PGB248K3					
	PGB2U48J / PGB2U48J1 / PGB2U48J2 / PGB2U48J3 / PGB2U48J4 PGB2U48J5 / PGB2U48JL / PGB2U48C2L / PGB2U48C3 / PGB2U48C8 PGB2U48C9					
バッテリーバックアップユニット [SASアレイコントローラカード] [PRIMERGY SX940 S1/ SX960 S1 ストレージブレード用 オプション]	PG-BBU6 PGBBBU6	⇒				
バッテリーバックアップユニット [SASアレイコントローラ拡張ボード] [PRIMERGY BX920 S2用オプション]	PGBBBU7	⇒	⇒	バッテリーバックアップユニット	PG-BBU7	23,000円
バッテリーバックアップユニット [SASアレイコントローラカード 搭載用オプション]	PY-BBR01 PYBBR01	⇒	⇒	バッテリーバックアップユニット	PY-BBR01	23,000円
バッテリーバックアップユニット [SASアレイコントローラカード 搭載用オプション]	PY-BBR04 PYBBR04	⇒	⇒	バッテリーバックアップユニット	PY-BBR04	23,000円

●SCSIカード[PG-2281/PG-2281L/PG-2283/PG-2283L/PY-SJ101/PY-SJ101L]について

①本カード1枚に外付SCSI装置と内蔵SCSI装置を同時に接続することはできません。

その際は、カードを分けて接続してください。

●SAS(コントローラ)カード[PG-228B/PG-228BL/PG-22DC/PG-22DCL/PG-224B/PY-SC1Y0/PY-SC1Y0L/PY-SC2Z0/PY-SC1L4]について

①本カード1枚に外付SAS装置と内蔵SAS装置を同時に接続することはできません。

その際は、カードを分けて接続してください。(PG-228B/BL/22DC/DCL/PY-SC1Y0/Y0L/SC2Z0は外付SAS装置用、PG-224B/PY-SC1L4は内蔵SAS装置用です。)

接続可能なハードディスクキャビネット数について

ハードディスクキャビネット	型名	TX100	TX120	TX140	TX150	TX200	TX300	RX100	RX200	RX300	RX600	BX920	BX922	BX924	BX960
		S3	S3	S1	S7	S6	S6	S7	S6	S6	S6	S2	S2	S2	S1
ETERNUS JX40	PG-R3DC1	-	-	6 (*1)	6 (*1)	6 (*1)	6 (*1)	6 (*1)	6 (*1)	6 (*1)	12 (*1)	-	-	-	-

*1)カスケード接続により、一組み最大3台のETERNUS JX40と接続可能

メモリ関連事項

OSにおける最大CPU数/使用可能メモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意願います。使用可能メモリ容量は以下の通りです。
(搭載可能なメモリ容量およびサポートOSは機種により異なります。)

OS	最大CPU数 (*1)	使用可能メモリ容量
Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit)	(~4)	32GB (*4)
Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64-bit)	(~8)	2TB (*7)
Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit)	(~64)	2TB (*7)
Windows® Web Server 2008 R2 (64-bit)	(~4)	32GB
Windows Server® 2008 R2 Foundation	(~1)	8GB (*3)
Windows® HPC Server 2008 R2 (64-bit)	(~4)	128GB
Windows Server® 2008 Standard (32-bit)	(~4)	4GB (*2) (*4)
Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)	(~8)	64GB
Windows® Web Server 2008 (32-bit)	(~4)	4GB
Windows Server® 2008 Standard (64-bit)	(~4)	32GB (*4)
Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)	(~8)	1TB (*8)
Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	(~64)	1TB (*8)
Windows® Web Server 2008 (64-bit)	(~4)	32GB
Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	(~4)	4GB
Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	(~8)	64GB
Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	(~4)	32GB
Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	(~8)	1TB / 2TB (*5)
Windows Server 2003, Web Edition	(~2)	2GB
Windows® Small Business Server 2011 Essentials	(~2)	32GB
Windows® Small Business Server 2008 Standard	(~4)	32GB
Windows® Small Business Server 2008 Premium	(~4)	32GB
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	~24	12GB
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	~24	12GB
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	~80	1TB
Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)	~80	1TB
VMware vSphere™ 4 (VMware ESX 4.0)	64	256GB / 1TB (*6)
VMware vSphere™ 4 (VMware ESX 4.1 / VMware ESXi 4.1)	128	256GB / 1TB (*6)
VMware vSphere® 5 (VMware vSphere ESXi 5.0)	160	32GB (*9) / 2TB

(*1) ハイパースレッディング・テクノロジー機能による論理CPU、デュアルコアCPU、クアッドコアCPU、6コアCPU、8コアCPU、10コアCPUのCPUコアをCPUの数としてカウントします。
()内は物理CPU数です。

(*2) Windows Server® 2008 Standard (32-bit)がインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリは4GBまでです。

(*3) Windows Server® 2008 R2 Foundationがインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は8GBまでです。

(*4) インストールされているOSがなく、Windows Server® 2008 R2 Standard/Windows Server® 2008 Standardがバンドルされているタイプに、
カスタムメイドにて増設可能なメモリは32GBまでです。

(*5) SP2適用時は、2TBまで使用可能です。

(*6) 256GBを超える物理メモリを使用する場合は、Enterprise Plus エディションが必要です。

(*7) 物理メモリを1TB以上搭載する場合、Windows Server 2008 R2 SP1を適用して下さい。

SP1を適用できない場合、マイクロソフト社セキュリティ更新プログラムKB980598を適用して下さい。

(*8) 使用可能メモリ容量が2TBから1TBへ仕様変更されました。詳細は、マイクロソフト社HP内、「Windows Server 2008 システム要件」をご確認下さい。

(*9) 無償のライセンスを使用する場合は、最大使用可能メモリ容量は32GBになります。

バックアップ装置関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

■ PRIMERGY用バックアップ装置 / OS標準バックアップユーティリティ対応表
PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とOS標準バックアップユーティリティの対応について記します。

バックアップ装置	装置型名	適用 バックアップ ユーティリティ 規格	Windows系										Linux系		
			Win2003 R2 (※1)	Win2003 R2 x64 (※2)	WEB2003 (※3)	Win2008(32-bit) (※4)	Win2008(64-bit) (※5)	SBS2008 (※6)	WEB2008 (※7)	Win2008 R2(64-bit) (※8)	Win2008 R2 FD (※9)	WEB2008 R2 (※10)	5(for x86) 5(for Intel64)	6(for x86) 6(for Intel64)	
			NTBackup			WindowsServer Backup							Linux Command		
RDX 装置	PG-RD1022	RDX	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×		
	PG-RD1024		○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PG-RD1026		○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PG-RD1027		○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PG-RD102D2		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PY-RD101		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PY-RD102		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
LTO 装置	PG-LT202	LTO Ultrium2	●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	×		
	PG-LT203		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PGBLT203C		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PG-LT303	LTO Ultrium3	●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PGBLT303C		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PY-LT301		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PG-LT401	LTO Ultrium4	●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PGBLT401C		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PG-LT403		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PGBLT403C		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PY-LT411		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
	PG-LT501	LTO Ultrium5	●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	○		
PGBLT501C	●		●	×	×	×	×	×	×	×	○	○			
PY-LT511	×		×	×	×	×	×	×	×	×	○	○			
PG-DT601	DAT160		●	●	●	×	×	×	×	×	×	○	○		
PG-DT602		●	●	●	×	×	×	×	×	×	○	○			
PY-DT201		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (1)	○ (1)			
PY-DT202		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (1)	○ (1)			
PG-DT501	DAT72	●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	×			
PG-DT5045		●	●	×	×	×	×	×	×	×	○	×			
PG-DT5046		●	●	●	×	×	×	×	×	×	○	×			
PG-DT5048		●	●	●	×	×	×	×	×	×	○	○			
PG-DT5049		●	●	●	×	×	×	×	×	×	○	×			
PG-DT504D2		●	●	●	×	×	×	×	×	×	○	○			
PY-DT101		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○			
PY-DT102	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○				

- (※1) 適用OS機のWin2003 R2は、Windows Server® 2003, R2 Standard Edition / Windows Server® 2003, R2 Enterprise Editionを示す。
- (※2) 適用OS機のWin2003 R2 x64は、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition / Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Editionを示す。
- (※3) 適用OS機のWEB2003は、Windows Server® 2003, Web Editionを示す。
- (※4) 適用OS機のWin2008(32-bit)は、Windows Server® 2008, Standard (32-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise (32-bit)を示す。
- (※5) 適用OS機のWin2008(64-bit)は、Windows Server® 2008, Standard (64-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise (64-bit) / Windows Server® 2008, Datacenter (64-bit)を示す。
- (※6) 適用OS機のSBS2008は、Windows® Small Business Server 2008, Standard / Windows® Small Business Server 2008, Premiumを示す。
- (※7) 適用OS機のWEB2008は、Windows® Web Server 2008 (32-bit) / Windows® Web Server 2008 (64-bit)を示す。
- (※8) 適用OS機のWin2008 R2(64-bit)は、Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit)を示す。
- (※9) 適用OS機のWin2008 R2 FDは、Windows Server® 2008 R2 Foundation (64-bit)を示す。
- (※10) 適用OS機のWEB2008 R2は、Windows® Web Server 2008 R2 (64-bit)を示す。

凡例 ○：対応
×：未対応
●：対応(但し、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)

留意事項

- ※OS標準のバックアップユーティリティを使用した場合、バックアップ装置の性能を十分に引き出せないことがあります。性能を重視する場合は、PRIMERGY用バックアップ装置をサポートするバックアップソフトウェアをご使用になることをお勧め致します。
- ※Windows Server® 2008 をご使用になる場合は、別途バックアップソフトウェアをご購入ください。
- ※Linuxコマンドをご使用になる場合は、tar, cpio, ddをご使用ください。

(※1): Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86), Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)を除く

■ PRIMERGY用バックアップ装置 / ARCserve for Windows 対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とARCserve for Windowsの対応について記します。

尚、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とARCserve for Windowsの最新情報や使用上の注意につきましては、下記をご参照ください。
 弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/arcserve/>)

バックアップ装置 装置型名 規格		適用OS		Win2003 R2/ Win2003 R2 x64 (※1)(※2)		Win2008(32- bit)/ Win2008(64-bit) (※3)(※4)		Win2008 FD (※5)		Win2008 R2 (64-bit) (※6)		Win2008 R2 FD (※7)		WEB2008 R2 (※8)	
		ARCserve 版数		CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15
		CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15	CA ARCserve Backup r12.5	CA ARCserve Backup r15
RDX 装置	PG-RD1022	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PG-RD1024	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PG-RD1026	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PG-RD1027	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PG-RD102D2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-RD101	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
	PY-RD102	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
LTO 装置	PG-LT202	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PG-LT203	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PGBLT203C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PG-LT303	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PGBLT303C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PY-LT301	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
	PG-LT401	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
	PGBLT401C	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
	PG-LT403	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
	PGBLT403C	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
	PY-LT411	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
	PG-LT501	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
PGBLT501C	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	
PY-LT511	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	
DAT 装置	PG-DT601	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PG-DT602	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PY-DT201	×	×	×	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×	●
	PY-DT202	×	×	×	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×	●
	PG-DT501	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	PG-DT5045	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PG-DT5046	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PG-DT5048	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PG-DT5049	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PG-DT504D2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	PY-DT101	×	×	×	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×	●
	PY-DT102	×	×	×	●	×	●	×	●	×	●	×	●	×	●

(※1) 適用OS欄の Win2003 R2は、Windows Server® 2003, R2 Standard Edition / Windows Server® 2003, R2 Enterprise Editionを示す。
 (※2) 適用OS欄の Win2003 R2 x64は、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition / Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Editionを示す。
 (※3) 適用OS欄の Win2008(32-bit)は、Windows Server® 2008, Standard (32-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise(32-bit)を示す。
 (※4) 適用OS欄の Win2008(64-bit)は、Windows Server® 2008, Standard (64-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise(64-bit) / Windows Server® 2008, Datacenter (64-bit)を示す。
 (※5) 適用OS欄の Win2008 FDは、Windows Server® 2008 Foundationを示す。
 (※6) 適用OS欄の Win2008 R2(64-bit)は、Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Enterprise(64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit)を示す。
 (※7) 適用OS欄の Win2008 R2 FDは、Windows Server® 2008 R2 Foundation (64-bit)を示す。
 (※8) 適用OS欄の WEB2008 R2は、Windows® Web Server 2008 R2 (64-bit)を示す。

凡例 ○：対応
 ×：未対応
 ●：対応(但し、バックアップ装置のデバイスドライバの適用が必要)
 (*1): Windows Server® 2008, Datacenter (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit)を除く

システム構成図留意事項

■ PRIMERGY用バックアップ装置 / NetVault Backup for Windows 対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windows の対応について記します。
 尚、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置とNetVault Backup for Windows の最新情報や使用上の注意につきましては、下記をご参照ください。
 弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>)

バックアップ装置 装置型名		適用OS		Win2003 R2 (※1)			Win2003 R2 x64 (※2)			Win2008(32-bit) (※3)			Win2008(64-bit) (※4)			Win2008 R2 (64-bit) (※5)			Win2008 R2 FD (※6)				
		NetVault Backup 版数		NetVault Backup v8.2	NetVault Backup v8.5	NetVault Backup v8.5.2	NetVault Backup v8.2	NetVault Backup v8.5	NetVault Backup v8.5.2	NetVault Backup v8.2	NetVault Backup v8.5	NetVault Backup v8.5.2	NetVault Backup v8.2	NetVault Backup v8.5	NetVault Backup v8.5.2	NetVault Backup v8.2	NetVault Backup v8.5	NetVault Backup v8.5.2	NetVault Backup v8.2	NetVault Backup v8.5	NetVault Backup v8.5.2		
		規格																					
RDX 装置	PG-RD1022	RDX	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PG-RD1024		×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PG-RD1026		×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PG-RD1027		×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PG-RD102D2		×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PY-RD101		-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PY-RD102		-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○
LTO 装置	PG-LT202	LTO Ultrium2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	-	-	-	-	-
	PG-LT203		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
	PGBLT203C		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	-	-	-	-	-
	PG-LT303	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	-	-	-
	PGBLT303C		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	-	-	-	-	-
	PY-LT301		-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	-	-	-	-	-
	PG-LT401	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
	PGBLT401C		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
	PG-LT403		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
	PGBLT403C		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
	PY-LT411	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	
	PG-LT501	LTO Ultrium5	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
	PGBLT501C		×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
PY-LT511	-		-	-	-	-	-	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	
DAT 装置	PG-DT601	DAT160	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	-	-	-	-	-
	PG-DT602		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
	PY-DT201		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	×	○	○	-	-	-
	PY-DT202		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	×	○	○	-	-	-
	PG-DT501	DAT72	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
	PG-DT5045		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	-	-	-	-	-
	PG-DT5046		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	-	-	-	-	-
	PG-DT5048		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	-	-	-	-	-
	PGBDT5049		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	-	-	-	-	-
	PG-DT504D2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	-	-	-	-	-
	PY-DT101		-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	-	-	-	-	-
PY-DT102	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	-	-	-	-	-		

(※1) 適用OS欄の Win2003 R2 は、Windows Server® 2003, R2 Standard Edition / Windows Server® 2003, R2 Enterprise Edition を示す。
 (※2) 適用OS欄の Win2003 R2 x64 は、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition / Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition を示す。
 (※3) 適用OS欄の Win2008(32-bit)は、Windows Server® 2008, Standard (32-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise (32-bit)を示す。
 (※4) 適用OS欄の Win2008(64-bit)は、Windows Server® 2008, Standard (64-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise (64-bit) / Windows Server® 2008, Datacenter (64-bit)を示す。
 (※5) 適用OS欄の Win2008 R2(64-bit)は、Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit)を示す。
 (※6) 適用OS欄の Win2008 R2 FD は、Windows Server® 2008 R2 Foundation (64-bit)を示す。

凡例 ○：対応
 ×：未対応
 -：OS組合せなし

留意事項

■ PRIMERGY用バックアップ装置 / Backup Exec for Windows 対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置と Backup Exec for Windows の対応について記します。
 尚、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置と Backup Exec for Windows の最新情報や使用上の注意につきましては、
 下記をご参照ください。
 弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/symantec/protection/backupexec.html>)

バックアップ装置 装置型名	規格	適用OS				
		Win2003 R2 (※1)	Win2003 R2 x64 (※2)	Win2008(32-bit) (※3)	Win2008(64-bit) (※4)	Win2008 R2 (64-bit) (※5)
Backup Exec版数		Backup Exec 2010	Backup Exec 2010	Backup Exec 2010	Backup Exec 2010	Backup Exec 2010
RDX 装置	PG-RD1022	○	○	○	○(*1)	○(*1)
	PG-RD1024	○	○	○	○(*1)	○(*1)
	PG-RD1026	○	○	○	○(*1)	○(*1)
	PG-RD1027	○	○	○	○(*1)	○(*1)
	PG-RD102D2	○	○	○	○(*1)	○(*1)
	PY-RD101	×	×	×	×	×
	PY-RD102	×	×	×	×	×
LTO 装置	PG-LT202	×	×	×	×	×
	PG-LT203	×	×	×	×	×
	PGBLT203C	×	×	×	×	×
	PG-LT303	○	○	○	○(*1)	○(*1)
	PGBLT303C	○	○	○	○(*1)	○(*1)
	PY-LT301	×	×	×	×	×
	PG-LT401	○	○	○	○(*1)	○(*1)
	PGBLT401C	○	○	○	○(*1)	○(*1)
	PG-LT403	○	○	○	○(*1)	○(*1)
	PGBLT403C	○	○	○	○(*1)	○(*1)
	PY-LT411	×	×	×	×	×
	PG-LT501	△(*2)	△(*2)	△(*2)	△(*1)(*2)	△(*1)(*2)
	PGBLT501C	△(*2)	△(*2)	△(*2)	△(*1)(*2)	△(*1)(*2)
PY-LT511	△(*2)	△(*2)	△(*2)	△(*1)(*2)	△(*1)(*2)	
DAT 装置	PG-DT601	◎	◎	◎	◎(*1)	◎(*1)
	PG-DT602	◎	◎	◎	◎(*1)	◎(*1)
	PY-DT201	×	×	×	×	×
	PY-DT202	×	×	×	×	×
	PG-DT501	○	○	○	○(*1)	○(*1)
	PG-DT5045	×	×	×	×	×
	PG-DT5046	◎	◎	◎	◎(*1)	◎(*1)
	PG-DT5048	◎	◎	◎	◎(*1)	◎(*1)
	PG-DT5049	◎	◎	◎	◎(*1)	◎(*1)
	PG-DT504D2	◎	◎	◎	◎(*1)	◎(*1)
	PY-DT101	×	×	×	×	×
	PY-DT102	×	×	×	×	×

(※1) 適用OS欄の Win2003 R2は、Windows Server® 2003, R2 Standard Edition / Windows Server® 2003, R2 Enterprise Editionを示す。
 (※2) 適用OS欄の Win2003 R2 x64は、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition / Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Editionを示す。
 (※3) 適用OS欄の Win2008(32-bit)は、Windows Server® 2008, Standard (32-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise(32-bit)を示す。
 (※4) 適用OS欄の Win2008(64-bit)は、Windows Server® 2008, Standard (64-bit) / Windows Server® 2008, Enterprise(64-bit) / Windows Server® 2008, Datacenter (64-bit)を示す。
 (※5) 適用OS欄の Win2008 R2(64-bit)は、Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Enterprise(64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit)を示す。

凡例 ○：対応
 ×：未対応
 △：対応(テープをまたがるバックアップは未サポート)
 ◎：対応(但し、弊社提供のUSBドライバの適用必須)
 (*1) : Windows Server® 2008, Datacenter (64-bit) / Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit) を除く
 (*2) : シマンテック社提供のデバイスドライバ-DDI20100515以降の適用必須

システム構成図留意事項

■ PRIMERGY用バックアップ装置 / NetVault Backup for Linux 対応表

PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置と NetVault Backup for Linux の対応について記します。
尚、PRIMERGYシリーズに接続されるバックアップ装置と NetVault Backup for Linux の最新情報や使用上の注意につきましては、
下記をご参照ください。
弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/netvault/>)

バックアップ装置 装置型名 規格		適用OS NetVault Backup 版数	Red Hat Enterprise Linux								
			5(for x86)			5(for Intel64)			6(for x86)		
			NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2	NetVault Backup 8.2	NetVault Backup 8.5	NetVault Backup 8.5.2
RDX 装置	PG-RD1022	RDX	×	×	○	×	×	○	×	×	×
	PG-RD1024		×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PG-RD1026		×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PG-RD1027		×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PG-RD102D2		×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PY-RD101		×	×	○	×	×	○	×	×	○
	PY-RD102		×	×	○	×	×	○	×	×	○
LTO 装置	PG-LT202	LTO Ultrium2	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	PG-LT203		○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PGBLT203C		○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PG-LT303	LTO Ultrium3	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PGBLT303C		○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PY-LT301		○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PG-LT401	LTO Ultrium4	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PGBLT401C		○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PG-LT403		○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PGBLT403C		○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PY-LT411		○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PG-LT501	LTO Ultrium5	×	○	○	×	○	○	×	×	○
PGBLT501C	×		○	○	×	○	○	×	×	○	
PY-LT511	×		○	○	×	○	○	×	×	○	
DAT 装置	PG-DT601	DAT160	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PG-DT602		○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PY-DT201		-	-	-	○	○	○	×	×	-
	PY-DT201		-	-	-	○	○	○	×	×	-
	PG-DT501	DAT72	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	PG-DT5045		○	○	○	○	○	○	×	×	×
	PG-DT5046		○	○	○	○	○	○	×	×	×
	PG-DT5048		○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PG-DT5049		○	○	○	○	○	○	×	×	×
	PG-DT504D2		○	○	○	○	○	○	×	×	○
	PY-DT101		○	○	○	○	○	○	×	×	○
PY-DT102	○	○	○	○	○	○	×	×	○		

凡例 ○：対応
×：未対応
-：OS組合せなし

Windows関連事項

Windows Server OSの使用権について

- ・Windows Server® 2008/2008 R2およびWindows Server® 2003 R2のライセンスにはダウングレード権があります。旧バージョンのWindows Server OSを購入されたお客様は、ライセンス製品の購入時にSoftware Assuranceも併せて購入した場合、契約有効期間内であれば最新バージョンのWindows Server OSを使用する権利があります。
- ・Windows Server OSをダウングレードする場合は、同一エディション間でのみダウングレード可能となります。例えば、Windows Server® 2008 StandardをWindows Server® 2003 R2へダウングレードする場合は、Windows Server 2003® R2, Standard Editionへダウングレード可能です。(Windows Server® 2003, Standard Edition/Windows Server® 2000へも可能)
- ・Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition等Enterprise Editionへダウングレードすることはできません。
- ・ダウングレード権を行使する場合、お客様がダウングレードして使用するバージョンのメディアとプロダクトキーを所有している必要があります。(なお、他のPRIMERGYに添付されているメディアを使用し、再インストールおよび再認証する場合、基本的にプロダクトキーは必要ありません。)
- ・Windows Server® 2008/2008R2は下位エディションを使用する権利を持ちます。(Datacenter>Enterprise>Standard)
- 例えば、Windows Server® 2008 R2 Enterpriseのライセンスを使用してWindows Server® 2008/2008 R2 Standard, Windows Server® 2003/2003 R2, Standard Edition, Windows Server 2003/2003 R2, Standard x64 Editionを使用することが可能です。

Windows Server® 2008 R2プレインストールバンドルのOSについて

- ・ Windows Server® 2008 R2 Standardのライセンスを使用して、Windows Server® 2008 R2 Standardのほか、Windows Server® 2008 Standard (32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、Windows Server® 2003, Standard Edition、あるいはWindows Server® 2008 Standard (64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003, Standard x64 Editionをインストールすることができます。
- また、Windows Server® 2008 R2 Enterpriseのライセンスを使用して、Windows Server® 2008 R2 Enterpriseのほか、Windows Server® 2008 Enterprise(32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition、Windows Server® 2003, Enterprise Edition、あるいはWindows Server® 2008 Enterprise(64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition、Windows Server® 2003, Enterprise x64 Editionをインストールする場合についても同様です。(下位エディションも使用可能)
- ・ Windows Server® 2008 R2は64bit版のみとなります。

Windows Server® 2008 プレインストールバンドルのOSについて

- ・ Windows Server® 2008 Standardのライセンスを使用してWindows Server® 2008 Standard (32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、Windows Server® 2003, Standard Edition、あるいはWindows Server® 2008 Standard (64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003, Standard x64 Editionをインストールすることができます。
- また、Windows Server® 2008 Enterpriseのライセンスを使用してWindows Server® 2008 Enterprise(32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition、Windows Server® 2003, Enterprise Edition、あるいはWindows Server® 2008 Enterprise(64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition、Windows Server® 2003, Enterprise x64 Editionをインストールをする場合についても同様です。(下位エディションも使用可能)
- ・ Windows Server® 2008のライセンスを利用して、Windows Server® 2008 R2は使用できません。
- ・ Windows Server® 2008は、標準で32bit版、64bit版メディアが2枚同梱されております。

Windows Server® 2008/2008 R2, Windows Server® 2003 R2 x64 EditionのOSインストールについて

- ・ ODDドライブを搭載していないサーバをご使用の場合は、Windows Server® 2008/2008 R2, Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 EditionのOSをインストールするために、別途DVDドライブを購入する必要があります。

Windows Server® 2008/2008 R2のOSインストールについて

- ・ Windows Server® 2008/2008 R2をインストールするためには、32GB以上の論理ボリュームが必要となります。

Windows Server® 2008へのダウングレードサービスについて

- ・本サービスは、Windows Server® 2008 R2に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2008をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、お客様からのご要望を受けて富士通が代行するサービスです。
- ・ Windows Server® 2008へのダウングレードサービス付き製品
 - (1) 本製品には、Windows Server® 2008 R2のOS媒体に加え、Windows Server® 2008 (32-bit, 64-bit)のOS媒体も同梱されます。さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2008 (32-bit)のインストール作業を代行します。
 - (2) 製品貼り付けのCOAシール(Product Keyが記載されているシール)は、Windows Server® 2008 R2用となります。Windows Server® 2008には使えません。CAL(クライアントアクセスライセンス)等は、Windows Server® 2008 (32-bit, 64-bit)でも使用することができます。
 - (3) 本製品添付のOS媒体を使用し、ServerView Installation Manager/ServerStart(セットアップ支援ツール)にてインストールする場合、Product Keyの入力は不要です。入力領域が2回表示されますが、2回とも何も入力せずに次へと進んでください。また、本製品添付のOS媒体を使用し、再インストールする場合、Product Keyは要求されません。
 - (4) 本製品にはWindows Server® 2008 R2のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2008から切り替えての使用が可能です。ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2008 R2の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

Windows Server® 2008 R2の留意について

- ・Windows Server® 2008 R2の留意に関する最新情報は、弊社HP (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/products/note/>)内の「Windows Server 2008 R2での注意事項」をご確認ください。

Linux関連事項

Linuxサポートバンドルタイプについて

Linuxサポートバンドルタイプでは、Linux OSをPRIMERGYにバンドルし、さらに1年間のソフトサポート(月曜日～金曜日 8時30分～19時(祝日および12月30日～1月3日を除く))が付いています。ハード含めたサポートや2年目以降のサポートをご要望の際は、別途SupportDesk契約(パック含み)をお願いいたします。

Linux OSの利用権について

Linuxタイプ (Linuxサポートバンドルタイプ) では、Red Hat Enterprise Linux のバージョンやアーキテクチャ[x86/EM64T(Intel64)]を変更することができます。対象機種種のサポートOSの範囲内であれば、Linuxタイプに標準添付しているRed Hat Networkのサブスクリプションを利用して、インストールに必要なソフトウェアをダウンロードして利用することができます。変更後のOSにおいても標準添付のLinuxサポートや、SupportDeskパック (有償) のご利用が可能です。

Linux OSオプションについて

Linux OSオプションを選択すると、Linux OSがPRIMERGYにバンドルされます。その際、併せてソフトサポート(SupportDesk Standard/Standard24(Red Hat Enterprise Linux 基本サポート))を選択して下さい。

Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ファイルシステムの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ファイルシステムの使用可能最大サイズが以下のようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ファイルシステムの最大サイズ※1
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB	8TB ※2
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)	12GB	8TB / 16TB ※2
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	1TB	8TB ※2
Red Hat Enterprise Linux 6 (for intel64)	1TB	8TB / 16TB ※2

※1:ファイルシステム ext3/ext4における最大サイズとなります。ext4は、RHEL6 (for x86/for Intel64)でご使用下さい。

※2:8TBを超えて使用する場合は、RHEL6.1 (for x86/for Intel64)以降でご使用下さい。

但し、システムボリュームとして使用する場合は、2TB以下でご使用下さい。

ディスクレスタイプのサポートについて

ディスクレスタイプにおけるLinux関連情報については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/>)を参照下さい。

また、サポートを必要とされるお客様につきましては、サービス一覧の「保守サービスSupportDesk (Linux/OSS)」を参照ください。

サポート対象ディストリビューション(※)

- Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)

※サポートディストリビューションは、本体装置により異なります。

Linuxのサポート版数について

PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)を参照下さい。

ディスクダンプ機能について

オンボードSATAコントローラにてRAID構成で使用する場合のみ、Linuxのディスクダンプ機能は使用できません。ディスクダンプ機能を使用する場合は、他のストレージコントローラをご使用頂くか、単体接続にて使用願います。

機種名	オンボードSATA コントローラにて RAID構成	左記以外の構成
BX920 S2	-	○
BX922 S2	x	○(単体接続時)
BX924 S2	x	○(単体接続時)
BX960 S1	x	○(単体接続時)
RX100 S7	x	○
RX200 S6	x	○
RX300 S6	-	○
RX600 S6	-	○
TX100 S3	x	○
TX120 S3	x	○
TX140 S1	x	○
TX150 S7	x	○
TX200 S6	x	○
TX300 S6	-	○

○:可能、x:不可、-:対象構成無し

仮想化機能について

サポート可能な仮想化機能は使用するOS、内蔵ストレージ構成により異なります。

機種名	RHEL5(XEN)		RHEL6(KVM)	
	オンボードSATA コントローラにて RAID構成	左記以外の構成	オンボードSATA コントローラにて RAID構成	左記以外の構成
BX920 S2	-	○	-	○
BX922 S2	x	○(単体接続時)	-	○
BX924 S2	x	○(単体接続時)	-	○
BX960 S1	x	○(単体接続時)	-	○
RX100 S7	x	○	-	○
RX200 S6	x	○	-	○
RX300 S6	-	○	-	○
RX600 S6	-	○	-	○
TX100 S3	x	○	-	○
TX120 S3	x	○	-	○
TX140 S1	x	○	-	○
TX150 S7	x	○	-	○
TX200 S6	x	○	-	○
TX300 S6	-	○	-	○

○:可能、x:不可、-:対象構成無し

各OSの仮想化機能について

当社サポート可能なゲストOSと各OSの組合せは下表の通りです。※各サーバにて使用可能なOSはサーバ本体のサポートOSに準じます

管理OS	ゲストOS	Windows Server® 2008 Standard (64-bit)/Enterprise (64-bit) *12 Datacenter (64-bit) *12 Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit)/Enterprise (64-bit)/Datacenter (64-bit)	Red Hat Enterprise Linux 5 *10 (Xen)		Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64) (KVM)	VMware *7	
		Hyper-V*9	5.0	5.1~		VMware vSphere™ 4	VMware vSphere® 5
Windows	Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit)	SPなし/SP2 *1			×	○	TBD *13
	Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64-bit)	SPなし/SP2 *1			×	○	TBD *13
	Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit)	SPなし/SP2 *1			×	○	TBD *13
	Windows Server® 2008 R2 Foundation (64-bit)	×			×	×	TBD *13
	Windows Server® 2008 Standard (32-bit/64-bit)	SPなし/SP2 *1			×	SPなし/SP2	TBD *13
	Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit/64-bit)	SPなし/SP2 *1			×	SPなし/SP2	TBD *13
	Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	SPなし/SP2 *1*2			×	SPなし/SP2	TBD *13
	Windows Server® 2008 Foundation (64-bit)	×			×	×	TBD *13
	Windows® Web Server 2008 R2 (64-bit)	SPなし *1			×	×	TBD *13
	Windows® Web Server 2008 (32-bit/64-bit)	SPなし/SP2 *1			×	×	TBD *13
	Windows® HPC Server 2008 R2 (64-bit)	SPなし *1			×	×	TBD *13
	Windows Server® 2008 HPC Edition (32-bit)	SPなし/SP1 *1			×	×	TBD *13
	Windows Server® 2003 R2, Standard Edition/ Standard x64 Edition	SP2 *3			×	SPなし/SP2	TBD *13
	Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	SP2 *3			×	SPなし/SP2	TBD *13
	Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	SP2 *2*3			×	×	TBD *13
	Windows Server® 2003 Standard Edition/ Standard x64 Edition	SP2 *3			×	SPなし/SP1/SP2	TBD *13
	Windows Server® 2003 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	SP2 *3			×	SPなし/SP1/SP2	TBD *13
	Windows Server® 2003 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	SP2 *2*3			×	×	TBD *13
	Windows Server® 2003 Web Edition (32-bit)	SP2			×	×	TBD *13
	Windows Server® 2000 Server/ Advanced Server	SP4 *4			×	SP3/SP4 *8	TBD *13
	Windows Server® NT 4.0 Server	×			×	SP6a	TBD *13
	Windows® 7 Home Premium	×			×	○	TBD *13
	Windows® 7 Professional	SPなし/SP2 *1			×	○	TBD *13
	Windows® 7 Enterprise	SPなし/SP2 *1			×	○	TBD *13
	Windows® 7 Ultimate	SPなし/SP2 *1			×	○	TBD *13
	Windows Vista® Home Basic (32/64bit)	×			×	SPなし/SP1/SP2	TBD *13
	Windows Vista® Home Premium (32/64bit)	×			×	SPなし/SP1/SP2	TBD *13
	Windows Vista® Business (32/64bit)	SP1 *3			×	SPなし/SP1/SP2	TBD *13
	Windows Vista® Enterprise (32/64bit)	SP1 *3			×	SPなし/SP1/SP2	TBD *13
	Windows Vista® Ultimate (32/64bit)	SP1 *3			×	SPなし/SP1/SP2	TBD *13
Windows® XP Professional x64 Edition	SP2/SP3 *3			×	SP2	TBD *13	
Windows® XP Professional	SP2 *4/SP3 *3			×	SP1/SP2/SP3	TBD *13	
Linux	RedHat Enterprise Linux 6 (for x86/ for Intel64)	×		×	○	○	TBD *13
	RedHat Enterprise Linux 5 (for x86/ for Intel64)	×		~5.x *11	5.3~	○	TBD *13
	RedHat Enterprise Linux ES (v.4 for x86/ v.4 for EM64T)	×	4.5	4.6~	4.8~	4.3~	TBD *13
	RedHat Enterprise Linux AS (v.4 for x86/ v.4 for EM64T)	×	4.5	4.6~	4.8~	4.3~	TBD *13
	RedHat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)	×		×	3.9~	×	TBD *13
RedHat Enterprise Linux AS (v.3 for x86)	×		×	3.9~	×	TBD *13	

※○:サポート対象(記載のSP/版数内でのサポートとなります)、×:サポート対象外を示す。

- *1) 1,2,4CPUで動作可能となります。
- *2) TX150 S7においてはサポート対象外となります。
- *3) 1,2CPUで動作可能となります。
- *4) 1CPUで動作可能となります。
- *5) SP2の対応状況については、弊社HP(<http://primersev.fujitsu.com/primergy/software/windows/os/wins2008/hv/>)を参照下さい。
- *6) SP2の対応状況については、弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/guide/windows/win32/virtuallsystem/0rb0100/>)を参照下さい。
- *7) VMwareでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、VMwareの製品情報を確認してください。
弊社HP(<http://primersev.fujitsu.com/primergy/software/vmware/>)
- *8) Windows Server® 2000 Advanced Server を除く。
- *9) 弊社社のHyper-VでサポートしているゲストOSについての最新情報は、Microsoft社の情報を確認してください。
Microsoft社HP(<http://www.microsoft.com/japan/windowsserver2008/r2/technologies/hyperv-guest-os.mspx>)
- *10) 管理OS版数に5.4以降を使用する場合は、Intel64を使用下さい。
- *11) ゲストOS版数は、管理OS版数のマイナーバージョンまでとなります。(例:管理OSがRHEL5.4の場合、ゲストOSはRHEL5.4までが使用可能です。)
- *12) RX100 S7, TX100 S3, TX120 S3, TX140 S1においては対象外となります。
- *13) サポート可能なゲストOSについては、2011年11月中旬以降、弊社HP(<http://primersev.fujitsu.com/primergy/software/vmware/>)にて掲載予定です。